

BLACK NIGHTMARE



R18
ADULT ONLY

成人向け作品につき
18歳未満閲覧禁止



ドクターの歪世界に囚われたイヴは、
彼の作り出した自身の贗物と戦うも
一瞬の隙を突かれ敗北してしまおう



気を失ったイヴは手術台に寝かされ、
物々しい枷を手脚に嵌められる。





「君を解剖させて貰おうと思っ
てね」
目を覚ましたイヴに対し、ドク
ターは冷淡に告げた
その目に宿る狂気に戦慄を覚
えたイヴは、
ナノスライサーで拘束具の切
断を試みる

「あ!! ああああつあ…!!」

突然の電撃に体を仰け反らせ悶絶するイヴ
体内のナノマシンの働きは電流によって狂わされ
トランスは無効化されてしまう

抵抗する手段を失ったイヴに対しても、
ドクターは電流を流し続けた
あまりの苦痛に絶叫するイヴの様子を見て
ドクターはただ冷酷な笑みを浮かべていた



「解剖する前に、少し遊ばせて貰おうと思つてね」
幾度となく電撃を浴びて、疲弊しきつてしまつたイヴ
更には一時的にナノマシンを機能停止する薬剤を投与され、
一切の抵抗力を失つてしまう

地下牢のような空間で両手を拘束されたイヴに対し、
ドクターは嗜虐的な笑みを浮かべ、鞭を振り下ろした
「あぐっ!!あつ!!うああああつ!!」
叩きつけられた鞭は、漆黒のドレスを引き裂き、
イヴの白い肌を赤く腫れ上がらせた

A blonde anime-style girl with long hair and bangs is depicted in a state of intense pain. She is wearing a black, form-fitting outfit with a high collar and long sleeves. She is bound with thick, dark metal chains around her neck, arms, and legs. Her eyes are squeezed shut, her mouth is wide open in a scream, and her face is flushed with red. There are visible wounds and blood on her arms and legs. The background is dark and industrial, with a grid pattern. Japanese text is written vertically on the right side of the image.

「ああっ、痛い…裂け…ちやう…っ!!」
鋼製の三角木馬に跨がせられたイヴ
下着越しとはいえ、柔らかな秘所に鋭利な角が食い込み、
激痛に悶え身を振らせる



ドクターの歪世界の力で具現化した悍ましい触手の群れが、
イヴの華奢な体に絡み付いた
白く柔らかな肌をの上を、無遠慮に這いずり回る無数の触手に
イヴは抵抗も出来ず、ただ嫌悪感に身を震わせるしか無かった



下着を引き裂かれ、秘所が曝け出された
イヴは羞恥で顔を真っ赤にするも、
その先に自分が何をされるかは想像出来ていなかった

生物学の書籍から得た程度の性知識しか無いイヴにとって、
自分が性的被虐対象とされているという事をまた理解出来ていなかった

触手のうちの一本が、イヴの秘列をこじ開け、中へと侵入する

「いや…嘘でしょ…そんな所…やめて…っ」

ズグツ
触手が処女膜を引き裂き、一気に最奥まで到達する

「いやあああああぁあぁあぁっ!!」

経験した事の無い激痛と屈辱、喪失感

歪世界の空間にイヴの引き裂かれるような悲痛な叫びが木霊した



触手の群れは女性器だけでは飽き足らず、
口腔や菊座にも侵入し、無遠慮に蹂躪した
くぐもつた声を漏らすことしか出来ず、
為すがままに嬲られるイヴ

その後もイヴは歪世界の仮想空間の中で様々な陵辱を受ける

圧倒的な体躯に加え、無尽蔵の精力を持つ人狼による
野蛮で暴力的な抽送を受け、泣き叫ぶイヴ

シャルデンの能力『ブラッド』を再現され、
全身を無数の生暖かい血液の手で拘束され、
愛撫される



ナノマシン研究の失敗作だという餓鬼のような生物の群れに捌られる
自分よりも小さな生物ではあるが、
トランスを封じられたイヴでは数の暴力の前に為す術も無く、
髪を掴まれ、胸を揉みしだかれ、膣内を蹂躪され、
まるで玩具であるかの様に扱われた



かつて自分に初めて恐怖という感情に陥れたギャンザ・レジック
死んだ筈の彼の男は、能力『マッスル』巨大化すると、
無造作にイヴの体を握りしめ、まるでオナホールを使うかの如く、
肥大化したペニスを、イヴの未成熟な性器に叩き付けた

あらゆる陵辱を受け、精魂尽き果てて放心するイヴ

「さて、十分楽しませて貰ったし僕としてはもう解剖に入りたいんだが、クリードが君に興味があるそうだ」

ドクターは冷笑し、続けた

「君の持つ『トランス』のナノマシンとクリードの持つ『不死』のナノマシン、それらを産まれながらに持ち合わせた『子供』がいれば、世界をクリードの望むままに変える計画も捗る、ということだ」

「ま…まさか」

「そう、君にクリードの子供を産ませる」

「な…っ!!」

「ああ、そういうええ言つてなかつたけど、

さつきまでの連中の精液では妊娠しないから安心していいよ

僕の歪世界の能力でも、精子の遺伝子情報までは再現出来ないからね

ただ、これから会うクリードは真正銘の本物だ」

「フフ…ストーリークタウンの教会でキミを星の使徒に誘った時から、
今回の事は考えていたんだよ」
「いやっ…離して…っ!!」

倒すべき敵に愛撫される嫌悪感に身を震わせるイヴ
しかし、今までに受けた力任せの陵辱に比べると、
クリードの愛撫に対し意に反する快感を覚え、
それが堪らなく屈辱的だった



遂にクリードに挿入を許してしまいうイヴ
こんな男の子供を産むなどあつてはならない
必死に振り解こうとするも、能力を失つた少女のささやかな抵抗は
クリードの嗜虐心を加速させる事にしかならなかつた

「いやっ!! いやああああああああつ!!」
倒すべき敵との子を成すという絶望と、
望まぬ快感を強いられる身体
イヴはただ泣き叫ぶ事しか出来なかった
(スヴェン、トレイン、助けて……)

「さあ、出すよ……!!」
クリードの精液が、イヴの子宮に注がれる
「ああああああああああああつ!!」
引き裂かれる様なイヴの悲鳴が、部屋に木霊した



「あっ…あ…」

ボロボロになるまで犯し尽くされ、
最後には倒すべき敵の子を宿してしまっただイヴ
クリードを倒すという固い決意に満ちていた瞳は
今はもう何も映していなかった



胎児の成長促進の為、培養槽に入れられ深い眠りにつく
彼女は今も、醒めぬ悪夢を見続けている

あとがき

はじめまして、ごび〜と申します。

この度は本書をお手に取って頂きまして誠にありがとうございます。

絵を始めてから丸3年、何を血迷ったか同人誌を発行する事になりました。
何分初めての事なので、至らない点が多々あると思いますが、
寛大な心でご覧になって頂ければ幸いに思います。

本来ならもう少し描きたいシチュエーションもあったのですが、
自己管理の甘さ故にこれが精一杯でした。
描ききれなかった分は、そのうちtwitter等で上げようと思います。

初めてコミケに申し込んで、大方の予想通り落選したわけですが、
黒井弘騎先生のサークルに置いて頂ける事になりました。
この場をお借りして御礼申し上げます。

同人誌を発行できる機会はこれが最初で最後かもしれませんが、
絵の方はこれからも続けて行きたいと思いますので、
今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

【奥付】

発行誌名 :BLACK NIGHTMARE

発行日 :2019年8月11日

サークル名:5Base

発行者 :ごび〜

twitter :http://twitter.com/gobby_ekaki

印刷会社 :大陽出版様

本作品の18歳未満の購入・閲覧を禁止致します。

本作品の複製・転載・公開を禁止します

5Base











































